

11月5日は 津波防災の日 世界津波の日



なにもないけど、なにかある！

伊座利地区（徳島県美波町）

1. 地区紹介



徳島県南部・美波町の東端に
位置する伊座利地区

〈美波町の概要〉

信仰と海亀、観光などを売りにしている
農業と漁業が基幹産業の町(人口約6,500人)



四国八十八ヶ寺
23番札所
「薬王寺」



ウミガメ産卵



康暦の碑

日本最古の
地震津波に関する石碑
(1361年正平南海地震)

1. 地区紹介



- ・三方を山に囲まれた海と共に生きる孤立的小規模な漁村
- ・商店も郵便局も信号もない、生活の利便性とはほど遠いところ

2. 地区の防災に関する取組の紹介

防災も地域づくりのはじまり

- ・ 過疎・少子高齢化の進行により地区が存亡の危機に！
- ・ 全住民で構成する地域維持活動団体を結成（2000年4月）
- ・ 地域全体を課題に多彩な活動を開始

地域のためになることなら、
できることはなんでもやる！

- ・ 地域を知ってもらう活動
- ・ 人の流れを起こす活動
- ・ 移住者受入活動
- ・ 安全安心対策活動

東日本大震災発災！

- ・ 同じ太平洋を共有するものとして被災地支援活動を開始（2011年7月～）（小さな漁船を直接届ける活動など）
- ・ 東日本大震災を教訓に、地域独自に避難路整備や二次避難場所確保、津波避難計画策定など

2. 地区の防災に関する取組の紹介

東日本
大震災発災

同じ太平洋を共有するものとして、
被災地支援活動を開始(2011年7月)



2. 地区の防災に関する取組の紹介

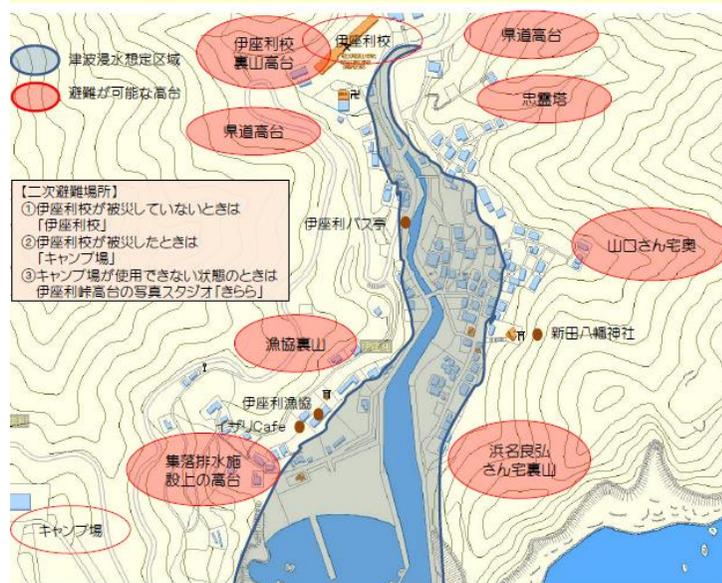
東日本大震災を教訓に！

避難路整備



よりはやく よりたかく ~伊座利地区津波避難計画~

このマップは、南海トラフの地震による津波が発生したときに浸水すると想定されている区域と、津波避難が可能な高台をまとめたものです。
地震発生から、津波が押し寄せて来るまでの時間は僅かしかありません。
また、**実際の津波は、想定よりも大きくなる可能性がある**ため、浸水する区域や避難が可能な高台を日頃から確認しておき、いざというときに備えましょう。
よりはやく、よりたかく、身近な高いところへ這い上がってでも、津波被害から命を守りましょう。



【津波から避難するときのポイントと心得】

- 海岸近くで地震の揺れを感じたらすぐに避難
- 津波警報・注意報が出たらすぐに避難
- より安全な高い場所へ避難
- 原則として徒歩で避難（高齢者などの災害時要援護者は近隣の人が協力して避難を支援。状況判断で車も可）
- 自分の命は自分で守るが原則ですが、可能なかぎり、周辺の人も「津波が来るぞ！」と呼びかけながら避難
- 津波警報注意報が解除されるまでは海辺に近づかない

この計画は、常に見直していきます。
住民のみなさんご意見をお寄せください。
(伊座利地区自主防災組織「伊座利町内会」)

【避難するときの注意事項】

- 灯りのない夜間に避難するときは注意しましょう
- 地震の揺れでブロック塀などが倒れてくることもあるので注意しましょう
- 傾斜が急な斜面は土砂崩れがある場合があるので注意しましょう

【日頃からできること】

- いろいろな場面を想定して、避難場所、避難経路、避難方法を考えておきましょう
- 家族がばらばらになったときの安否確認や連絡の方法を決めておきましょう
- 飲料水や非常食、避難用品などの非常用持ち出し品を用意しておきましょう

地域手作りの津波避難計画

2. 地区の防災に関する取組の紹介

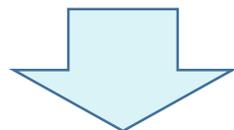
伊座利流の避難訓練



2. 地区の防災に関する取組の紹介

伊座利地区の防災の考え方

- 防災ありき、防災だけのまちづくり、地域づくり
それは、まちや地域の魅力を低下させ、
人口減少をさらに進行させる(させている！)
- 防災は、
日常生活の延長上に考え、展開していくものであり、
日常生活が暮らしにくいものであってはならない。



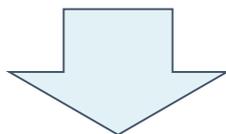
防災も地域づくり

2. 地区の防災に関する取組の紹介

伊座利地区が抱える課題と対策

課 題

- ・人口減少と大自然災害は止めることができない！
- ・暮らしや生業が持続可能な地域社会を目指していくためには、単なる衰退ではなく、将来へつながる人口減少と大自然災害にどう向き合っていくか！



計画的かつ実効性のある指針として、
人口10万人のむらを目指す

「**事前復興アクションプラン**」を地域独自に策定

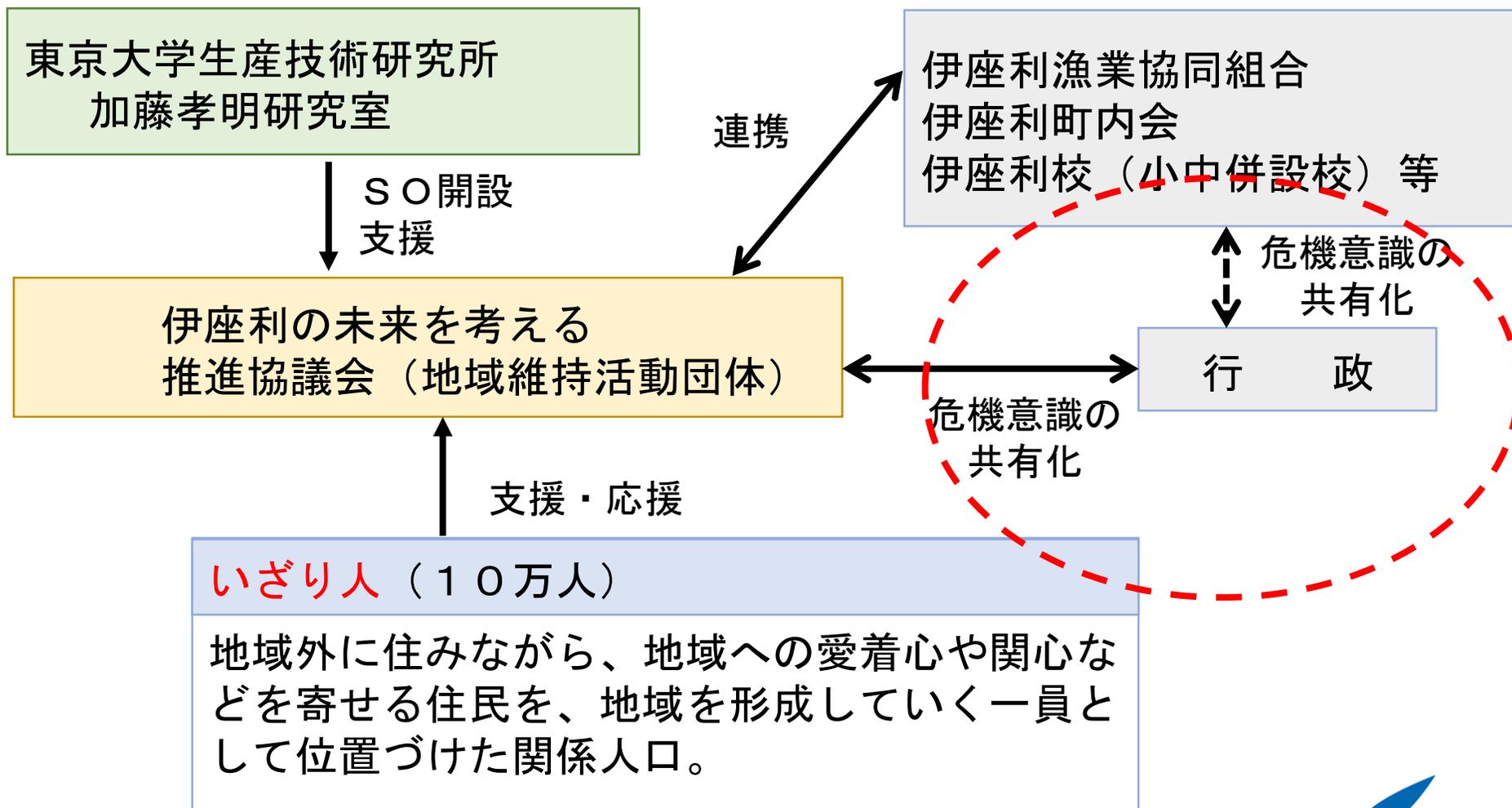
(2015年3月)

事前復興アクションプラン

- ・地域の現状(過去・現在)
- ・地域が目指す将来像
- ・将来像実現のためのアクションプラン
- ・大自然災害を想定した復興シナリオ
- ・地域住民に求められる意識と視点

2. 地区の防災に関する取組の紹介

人口減少と大自然災害に向き合っていく地域の維持運営システム





内閣府